

17日目（9月11日火曜日）

こんにちは。17日目日報担当の観光・世界遺産班、武田と鶴岡です。本日私たちは、午前中ヘルシンキ市内にて班行動を行い、午後ヘルシンキ・ヴァンター空港に移動・集合しました。以下、本日のルートマップと行程表です。

●観光・世界遺産班 17日目ルートマップ

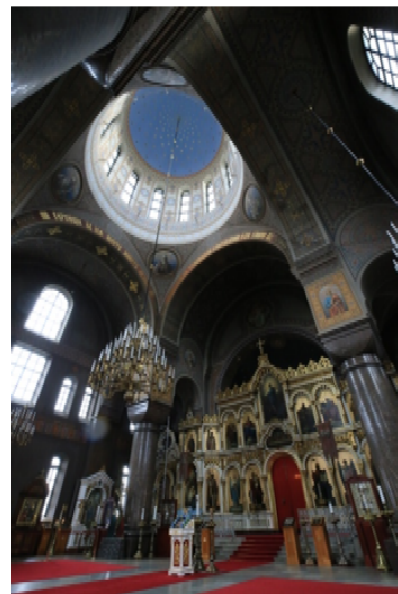
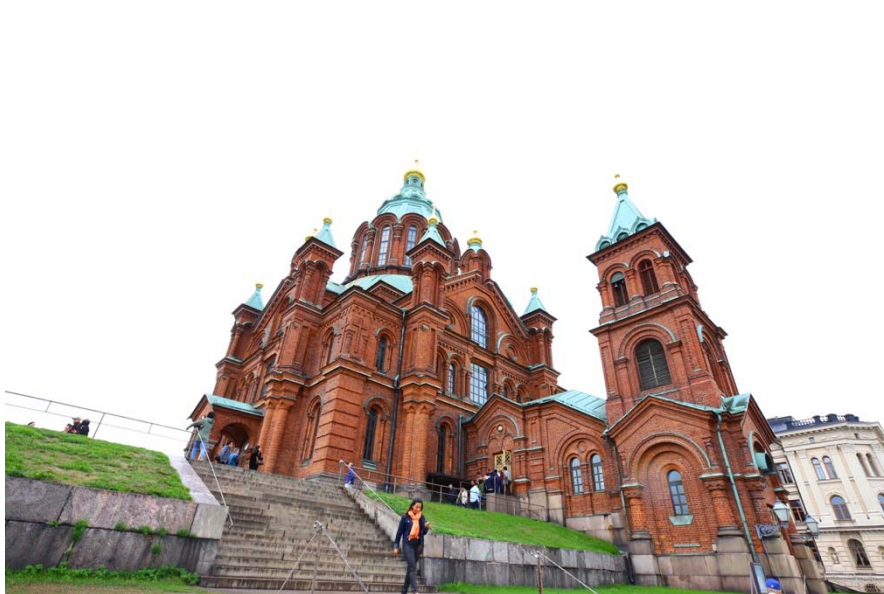


●観光・世界遺産班 17日目の行程

	場 所	時 刻	内 容
①	ホテル	6:30	朝食
①	ホテル	8:54	出発・班行動開始
	Lasipalatsi St.	9:13	トラム・4ラインに乗車
	Ritarihuone St.	9:19	徒歩にて移動
②	生神女就寝大聖堂 (ウスペンスキー寺院)	9:30~9:44	見学
③	Pohjoisesplanadi 近辺	9:56~11:14	景観調査
①	ホテル	11:21~11:45	徒歩にて移動
	ヘルシンキ中央駅	11:58	VR・Pラインに乗車
	ヘルシンキ空港駅	12:31	
	ヘルシンキ空港第2ターミナル	14:30	全体集合
	ヘルシンキ空港	17:15	FINNAIR AY073 便で出発

●場所の詳細

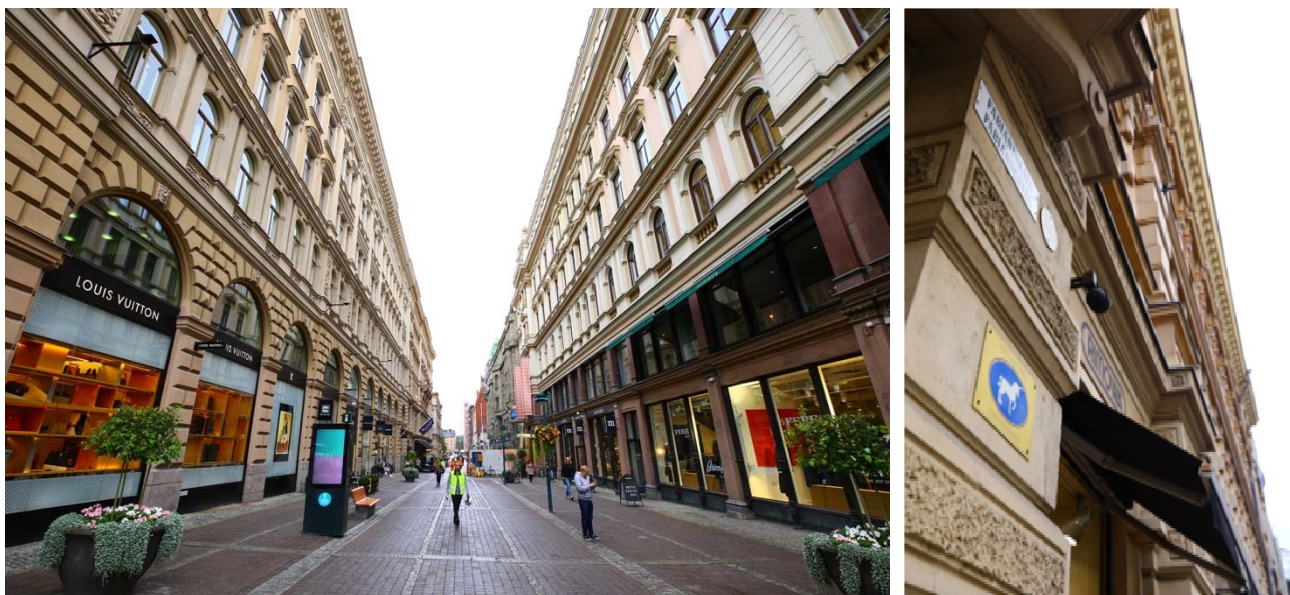
②生神女就寝大聖堂（ウスペンスキー寺院）



北欧最大規模を誇るロシア正教の教会である。別名「ウスペンスキー大聖堂」と呼ばれる。カタヤノック半島の丘陵地上に位置し、フィンランド正教会ヘルシンキ教区の主要な大聖堂である。建物はスラブ・ビザンチン様式の建物で、赤レンガ造りの重厚な外観である。現在も地下には防空壕が残っており、内部の温度変化が少ないことに注目し、地下熱を周辺地域の温水暖房として活用している。

道路から丘陵地を登ること約 5 分、大聖堂に着く。広場からは魚市場や市街地を見下ろし、ヘルシンキ大聖堂はこの地とほぼ同じ高さに立地していることが見て取れた。フィンランドは安定陸塊上にあり、岩盤が数 m 下にあることから、高台に大きな教会が建築可能であることが具体的な事例によってわかった。

③ Pohjoisesplanadi 近辺の景観



この通りは中央駅南部に位置する公園に面している。外観はそのままに内装だけを変えて今も利用されている。道路を挟んだブロックごとにユニコーンやラクダといった動物が描かれている。建物の高さは約4~5階建てで揃っていることからスカイラインも整っている。昔、似たような建物が並びながらもどこに何があるのか判断できたのは住民どうしでコミュニティ（共同体）を形成していたからとされている。オスロやコペンハーゲンと同様に市街と郊外で景観を分けていることで美しい街並みが現在まで残っている。

（作成：観光・世界遺産班 武田 佑鶴、鶴岡 宝）